

## **\* 研究目的**

現在、少子化問題と子育て支援の必要性が結び付けられ、支援の充実、保育の充実などに関する施策が行われている。しかし、実情を見ると、保育所整備の地域的偏り、家事負担の女性への偏り、（性別を問わない）就業負担、産業・企業の構造、若者の貧困など、多数の要因が少子化や子育ての困難に関係しており、子育て支援や保育の充実のみで子育て問題は解決しない。また、そうした状況から生まれる不安から、若者は子育てを先送りする形でライフプラン形成を行いやすい。本研究は、「次世代育成を含むライフプラン形成」を可能にすることを大目的としながら、異なった専門分野における研究の実施と得られた知見の総合によって、複数の要因が複雑に関わる「子ども・子育て問題」を検討する。具体的には、「子ども・若者の将来イメージに関わる産業・職業界の構造変化」「復職者の人事評価」「保育の利用と母親の就業（保育無償化の影響含む）」「家庭内の性別分業（育児分担）」「親子の関係性（特に親の sensitivity（感性））」という子ども・子育てに関する諸問題の重層的、階層的関係を検討し、それらの問題を踏まえた「ライフプラン教育による大学生の就労観・子育て観の変化」および「将来に対する児童の夢や計画性」を通して「ライフプラン形成」のあり方を検討することを目的とする。

## **\* 研究チームメンバーと研究課題**

森茂起 文学部・教授

研究テーマ：「子ども・子育て」「ライフプラン形成」に関わる諸問題の議論の整理および研究の統括

足立泰美 経済学部・教授

研究テーマ：子ども・若者の将来イメージに関わる産業・職業界の構造変化

奥野明子 経営学部・教授

研究テーマ：産休・育休からの復職者の人事評価に関する研究

前田正子 マネジメント創造学部・教授

研究テーマ：保育所・幼稚園預かり保育の利用と家庭内の夫婦の役割の関連についての研究（中里と共同研究）

中里英樹 文学部・教授

研究テーマ：保育所・幼稚園預かり保育の利用と家庭内の夫婦の役割の関連についての研究（前田と共同研究）

北川恵 文学部・教授

研究テーマ：親子関係支援プログラムの実践および親世代と学生との交流活動の実施

野崎優樹 文学部・講師

研究テーマ：大学生に対するライフプラン教育の効果検証

木下雅博 人間科学研究所・博士研究員

研究テーマ：児童期におけるライフプラン形成